
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第46号(2018.8.13)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第46号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、共同活動を通じて地域住民の農地を守っていこうとする意識を高め、魅力ある農業地域づくりに取り組む組織と、非農業者の参加を促す工夫を行うことで、幅広い活動範囲での共同活動に取り組む組織を紹介します。

事務局からは、第10回多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告、夏休み恒例のこども霞が関見学デーの開催報告、生きもの調査指導者養成全国研修会(富山)の開催案内、全国事例研究会の参加者募集についてお知らせします。

---第46号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆与謝農業振興会(京都府与謝郡与謝野町)☆

☆菰槌保全会(青森県つがる市)☆

2. 第10回多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告

3. 夏休み恒例「こども霞が関見学デー」開催報告

4. 「生きもの調査指導者養成全国研修会 in 富山」開催のご案内

5. 全国事例研究会の参加者募集中!(発表組織が決定しました)

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介 (1)

～与謝農業振興会(京都府与謝郡与謝野町)～ ■

～地区概要～

京都府北部にある与謝野町の南部に位置し、大江山山系の麓に広がる与謝地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 60.1ha、畑 0.9ha。対象施設は開水路 25.5km、農道 12.5km。

～主な取組～

- ◎本組織は、農業を地域産業として定着させ活性化を図るために、多面的機能支払交付金を用いた共同作業に取り組むことで、地域住民の連携の意識を高めています。
- ◎共同作業としては、農用地等の法面の草刈り、農道や水路等の補修、鳥獣害フェンスの見回り点検や修繕補修を行っています。本地区は、傾斜が急峻な農用地が多いため、草刈りを行うにあたり、長い草丈で足を滑らせないように、草刈りの頻度を増やすなどの工夫を凝らしています。
- ◎また、地域の景観形成のためのコスモスの植栽や地域の水質モニタリング調査などの環境保全活動にも取り組んでいます。
- ◎こうした共同活動を通じた地域の農地を守っていこうとする意識の高まりは、新規作物（ホップ、ソバージュトマト、薬草など）への挑戦や、クラフトビールの醸成やパスタソースの製造などの6次産業化を手がける新たな法人の設立に繋がっており、魅力ある農業地域づくりに貢献しています。



農道補修



水路補修



ホップ栽培



トマトのソバージュ栽培

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2) ～^{こもづち}菰槌保全会(青森県つがる市)～ ■

～地区概要～

青森県の中西部にあるつがる市の西部に位置し、津軽平野と海岸沿いの^{びょうぶさん}屏風山と呼ばれる丘陵地帯(砂丘)に挟まれた地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 223ha、畑 225ha。対象施設は水路 62.6km、農道 44.5km、ため池 10箇所。

～主な取組～

- ◎本組織は、活動範囲が広く、保全管理する施設が多いことから、一部の担い手に負担が集中することが懸念されていましたが、農業者、自治会、老人クラブ、消防団など多様な人たちが参加しやすくなる工夫を行うことで、幅広い参加者を得ています。
- ◎非農業者の参加を促す工夫の一つが、参加しやすい時間設定です。例えば、春から夏にかけては、会社員が出勤する時間帯の前をねらって、早朝(朝5時～朝8時)に水路や農道の草刈り、補修を行うことで、参加者の増加に繋がりました。
- ◎また、高齢者の作業が困難な場所の草刈り等には、消防団の若い方に協力してもらおうなどの適材適所の工夫も行っています。
- ◎さらに、地域住民への活動のPRのため、婦人会や町内会と協力して、多くの人目に触れる県道沿いやため池の堤防沿いにマリーゴールドやツツジを植栽するなど景観形成活動を行っています。
- ◎これらの工夫により、共同活動への非農業者の参加が多くなり、今後も活動の維持が期待できるとして、青森県から表彰されるなど、高く評価されています。



水路の草刈り



水路の目地詰め



農道砂利敷き



植栽活動

【菰槌保全会 会長 長谷川 藤行】

■2. 第10回多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告 ■

農林水産省は7月26日（木）に「第10回多面的機能支払交付金第三者委員会」（座長：中嶋康博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授）を開催しました。

今回は、平成29年度における取組状況や、活動組織による自己評価と市町村評価結果のほか、平成30年度末の施策評価に向けて、効果的な取組を把握するために活動組織に対して行った実態調査結果を諮り、ご意見をうかがいました。

委員からは、「農村環境保全活動等の取組数により、インセンティブを持たせる検討が必要」、「活動組織が適切に事業を選択できるように、他の長寿命化対策事業との違いについて整理が必要」等のご意見がありました。

施策評価については、活動組織等に対する実態調査結果等を踏まえ素案を作成し、11月頃に予定している第11回第三者委員会に諮る予定にしています。

○第三者委員会資料はこちらから(農水省 HP)

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/n_sansya/index.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■3. 夏休み恒例「こども霞が関見学デー」開催報告 ■

農林水産省では、8月1日（水）、2日（木）の二日間にわたり、「こども霞が関見学デー」を開催しました。2日間での来場者数は過去最高の7,246人となり、全省庁の中でも最多となるなど、今年も大盛況のうちに終わりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

多面的機能支払推進室では、「田んぼの水はどこからやってくる？」ブースのVR体験コーナーで、「田んぼの生きもの探検 VR」を出展しました。VR体験コーナーには多くの子どもたちが集まり賑わっていました。また、利根川水系土地改良調査管理事務所からは、本物のドジョウが魚道をのぼる「水田魚道」の出張展示が行われました。田んぼの生きものを見るのが初めての子どもも多く、わくわくドキドキを楽しみながら、田んぼの「生きものすみか」となる機能の大切さを学んでもらえたことと思います。



▽詳細▽

イベントの詳細は、以下のサイトをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/kids/experience/k_d/index.html

こども霞が関デーの開催報告について（文部科学省リンク）

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/index.htm

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■4.「生きもの調査指導者養成全国研修会 in 富山」開催のご案内 ■

「生きもの調査」の実施における指導やサポートを行うことができる人材の育成を目的として、（一社）地域環境資源センターでは、座学と実習で構成した研修会を開催します。例年、多面的機能支払の活動組織からも多くの方々が参加している研修会ですので、是非ご参加ください。

▽日程▽

平成 30 年 9 月 3 日（月）～4 日（火） 1 泊 2 日

▽場所▽

座学：となみ散居村ミュージアム（富山県砺波市）

実習：ひみラボ水族館（富山県氷見市）

▽申込締切▽

平成 30 年 8 月 27 日（月）

▽詳細・申込▽

研修会の詳細・申込については、(一社)地域環境資源センターのホームページをご覧ください。

<http://www.acres.or.jp/Acres/kenshukai/index.htm>

▽お問合せ先▽

(一社)地域環境資源センター (担当：藤田)

TEL：03-5425-2461

FAX：03-3432-0743

URL：<http://www.jarus.or.jp/>

【(一社)地域環境資源センター 農村環境部】

■5. 全国事例研究会の参加者募集中！(発表組織が決定しました) ■

多面的機能支払交付金事例研究会(平成30年10月30日(火)、31日(水)開催)の参加者を募集中です。

このたび、1日目の事例発表にて発表いただく組織が以下のとおり決定しました。

・テーマ1 (生態系の保全)

魚のゆりかご水田協議会 (滋賀県ひがしおうみし東近江市)

原宿の環境をよくする会 (茨城県かさまし笠間市)

・テーマ2 (多様な団体の参画による活動継続の工夫)

清し有田すが佐田うたさ沖た環境保全会 (三重県たまきちょう玉城町)

・テーマ3 (事務負担軽減に向けたシステム化の推進)

福井県多面的機能発揮推進協議会 (福井県)

参加のお申込は、平成30年8月24日(金)12時00分まで農林水産省ホームページにて受け付けております。皆様のご参加をお待ちしております。

▽詳細・参加申込方法▽

以下のホームページで詳細をご確認の上、「5.参加申込要領」からお申込ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H30.html

▽昨年度の開催報告はこちら▽

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H29.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

蝉の鳴き声が響き渡っています。朝から元気に鳴いているなと思いながら、眠たい目を擦って通勤しているこの頃です。子供の頃は、「蝉の鳴き声＝夏休みの到来」だったので、嬉しくてたまらなかったのですが、今では騒がしいと感じる気持ちの方が強いです。いつまでも子供心を忘れないでいられるだろうと自負していただけない、寂しい気持ちです。気付いたら夏が終わっていた、なんてことのないように、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：大木、藤田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
